

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
マーキュリーカップ	2019/7/115	JpnIII	盛岡	2000m	ハイペース	良	展開、コース適性

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	グリム	牡4	56	武豊	ゼンノロブロイ	サンデー系	サクラバクシンオー	サンデー系	A	B	B	B	B	B	○	
2	2	コスモマイギフト	牡10	54	松本剛	アツミラーレ	サンデー系	スピニングワールド	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		
3	3	ノーブルサターン	牡5	54	鮫島良	カジノドライブ	ナスルー系	スペシャルウィーク	サンデー系	B	C	B	B	B	B	△1	
	4	コミュニティ	牡9	54	山本政	プライアンスタイム	ロベルト系	ティンバーカントリー	ミスプロ系	D	B	C	D	C	C		
4	5	レッドダニエル	セ8	54	阿部	トワイニング	ミスプロ系	アグネスワールド	ノーザン系	D	C	D	D	D	D		
	6	チェリーピッカー	牡6	54	山本聡	カフェオリンポス	ミスプロ系	ネオユニヴァース	サンデー系	D	B	B	B	C	C		
5	7	センティグレード	牡8	54	高松	パイロ	ナスルー系	Indian Ridge	クラリオン系	D	C	D	D	D	D		
	8	ムゲンノカノウセイ	牡4	54	岩本	ヴァーミリアン	ミスプロ系	プライアンスタイム	ロベルト系	D	C	D	D	D	D		
6	9	テルペリオン	牡5	54	松若	フリオーソ	ロベルト系	ダンスインザダーク	サンデー系	B	B	B	A	B	B	◎	
	10	イッセイイチダイ	牡7	54	佐藤友	ヴァーミリアン	ミスプロ系	フォーティナイナー	ミスプロ系	D	B	D	D	D	D		
7	11	コパノチャーリー	牡7	54	松山	アグネスデジタル	ミスプロ系	ティンバーカントリー	ミスプロ系	C	B	B	C	C	C		
	12	デジタルフラッシュ	牡8	54	藤原	アグネスデジタル	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	C	D	D	D	D		
8	13	スランジパール	牡10	54	渡辺	ケイムホーム	ミスプロ系	パラダイスクリーク	ナスルー系	D	C	D	D	D	D		
	14	ロードゴラッソ	牡4	54	藤岡祐	ハーツクライ	サンデー系	Kingmambo	ミスプロ系	B	B	B	A	B	B	▲	

隊列図	見解	ラップタイム
グリム コパノ ノーブ テルペ チェリ ロード  コミュ イッセ レッド センテ ムゲン スラン コスモ デジタ	盛岡競馬場は非常に起伏に富んだコースとして知られており、高低差は地方競馬場の中で最大の4.4mもある。盛岡ダート2000mはスタート地点がホームストレッチの坂手前。そこからコースをグルッと1周して3コーナー過ぎから下り阪。直線入り口にかけて一気に下り、ホームストレッチでは再び急坂が待ち構えている。ただでさえ、ダート2000mはタフな条件だが、それに加えて2度の坂越えがあるため、同コースは消耗戦、スタミナ比べになりやすい。過去には典型的なスタミナ型のシビルウォー、ユーロビートなどが勝利。過去2年もスタミナ型差し馬のミツバが勝利を挙げている。今年、断然人気に推されるグリムはどちらかというと、立ち回り&スピード型。金沢2100m、名古屋1900mのようなコースの方が合っており、盛岡ダート2000mに変わるのには決してプラスとは言えないだろう。ここは別の馬にも勝利のチャンスがあると見た。それでは予想にいきましよう。	回顧
ハイペース	本命は充実一途の <b>テルペリオン</b> の勝ち切りに期待したい。今年に入ってから明らかに充実期を迎えており、仁川ステークス、スレイブニルステークスとオープン特別で2勝をマーク。近走で崩れたのはスピードと立ち回り力が問われた名古屋大賞典、馬場差-2.1の超高速馬場だったプリリアントステークスのみ。(以下省略)	次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	グリム	○	スピード、立ち回り力を生かしてこそだが、ハイペースの消耗戦になった前走アンタレスステークスでも2着に踏ん張っており、盛岡ダート2000mに変わるだけでパフォーマンスを大幅に落とすとはしない。		
2	2	コスモマイギフト		地元の笠松でも一度も馬券に絡んだことがない馬。文字通り参加するだけだろう。		
3	3	ノーブルサターン	△1	精神的に弱い面があるも、今回は実質少頭数競馬なので力を出し切れそう。左回りコースは合っており、グリムの直後で我慢できれば、直線で内からスルスルと上がっていくシーンがあるかもしれない。		
	4	コミュニティ		全盛期でさえマーキュリーカップではJRA勢に全く歯が立たなかった。ピークを過ぎたのは明らかで目指すは地方勢最先着か。		
4	5	レッドダニエル		2走前の地元重賞・みちのく大賞典では最下位に敗退。ダートグレードでは結果が目に見えている。		
	6	チェリーピッカー		地方勢では相対的に実績上位も、ダートグレードではさすがに相手が悪過ぎる。		
5	7	センチグレード		南関東のA2で壁にぶつかり、岩手に移籍。ダートグレードではさすがに分が悪い。		
	8	ムゲンノカノウセイ		昨年のダービーグランプリでは4着と健闘。まだこれから良くなっていきそうな雰囲気はあるものの、ダートグレードではさすがに荷が重い。		
6	9	テルペリオン	◎	今年に入ってから明らかに充実期を迎えており、仁川ステークス、スレイブニルステークスとオープン特別で2勝をマーク。戦績が表している通り、典型的なスタミナ型で盛岡ダート2000mならグリムに肉薄しても不思議ではない。		
	10	イッセイイチダイ		佐賀在籍時は重賞7勝と素晴らしい成績を残したが、年齢を重ねて成績が後退し、佐賀に移籍。ここは参加するだけだろう。		
7	11	コパノチャーリー		同型・グリムとの兼ね合いがカギで、そのほかのJRA勢（ノーブルサターン、テルペリオン）も早め早めの競馬。このメンバーではよほど展開が向かない限り、馬券圏内に好走するのは難しいのでは。		
	12	デジタルフラッシュ		前走六甲盃でさえ12頭立ての11着と大敗。ダートグレードでは荷が重過ぎる。		
8	13	スランジバール		すでに10歳で地元・笠松でも苦戦続き。参加するだけだろう。		
	14	ロードゴラッソ	▲	ここは内のグリムがハナに行き、外からテルペリオン、コパノチャーリーらが絡んでいけば、その直後を追走できる本馬に展開利がありそう。前走大沼ステークスは、地力で2着を確保。ハーツクライ産駒らしくバテずに長くいい脚を使うタイプで、盛岡ダート2000mへの適性はテルペリオンと並んで高そうだ。		